

[高槻市総合交通戦略] モニタリング指標確認結果(平成30年度実績まで)

	モニタリング指標	目指す方向性	策定時確認値	最新確認値	確認頻度	出典
直接的な指標	(1) 交通手段分担率	マイカーに過度に依存しないという基本方針を踏まえ、非自動車分担率を増加	75% (平成22年実績)	—	10年に1回	近畿圏パーソントリップ調査
	(2) 鉄道利用者数	人口減少時代においても、1日当たり乗降者数を現状維持	263千人/日 (平成25年実績)	266千人/日 (平成29年実績)	毎年	大阪府統計年鑑
	(3) 一人当たり年間バス乗車回数	持続可能な交通体系に向けて、高槻市民一人当たり年間バス乗車回数を増加	63.5回/人・年 (平成25年度実績)	64.0回/人・年 (平成29年度実績)	毎年	高槻市統計書
	(4) 自動車平均速度	市内移動環境の充実のため、自動車平均速度10km/h以下の国道交差点を減少	5方向 (平成26年実績)	0方向 (平成30年実績)	毎年	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所資料
	(5) 自転車放置台数	高齢者・障がい者、子育て世代が気軽に移動できる移動環境の実現のため、自転車放置台数を減少	1,508台/日 (平成26年調査結果)	945台/日 (平成30年調査結果)	毎年	自転車利用実態調査(管理課)
	(6) 中心部歩行者数	中心部のにぎわいを持続させるため、休日の中心部歩行者数を現状維持	202.9千人/日 (平成25年度調査結果)	231.2千人/日 (平成28年度調査結果)	3~4年に1回	通行量・入店者数調査報告書(高槻市産業環境部・高槻商工会議所)
間接的な指標	(7) 一人平均歩数	健康な暮らしを支える交通体系の実現のため、高槻市民一人当たり1日平均歩数を増加	男性:20代~60代:6,079歩/日 70代以上 :4,401歩/日 女性:20代~60代:5,478歩/日 70代以上 :3,931歩/日 (平成28年度調査結果)	—	3年に1回程度	高槻市と関西大学による市民意識調査報告書
	(8) 駅周辺部居住人口	コンパクトなまちづくりという将来都市像を目指すため、鉄道駅周辺部の居住人口を現状維持	96,786人 (平成26年10月1日現在)	98,140人 (平成30年10月1日現在)	国勢調査:5年に1回、高槻市推計人口:毎年9月末の値を確認	国勢調査及び高槻市推計人口
	(9) 交通事故死傷者数	あらゆる世代にとって安全で外出しやすい交通環境を目指すため、死傷者数を減少	1,556人/年 (平成26年実績)	1,049人/年 (平成30年実績)	毎年	大阪の交通白書
	(10) 移動手段に関する満足度	「交通まちづくり」による住みやすさナンバーワンを目指すため、市民アンケートにおける全ての移動手段での不満・やや不満を減少	歩行、自転車及び自動車に関する不満・やや不満が比較的高い (平成27年度調査結果)	おおむね減少傾向であるが、一部未達成あり (平成28年度調査結果)	短期的な取組の目標年次、中期的な取組の目標年次	市民アンケート結果 高槻市と関西大学による市民意識調査報告書

※(4)平成29年よりETC2.0データを使用(平成28年までは民間プローブデータ)

※(7)一人平均歩数:策定時未調査のため、平成28年度調査により確認